

ちばけん

障害者社会参加推進センターだより

発行・編集 千葉県障害者社会参加推進センター

第12号

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県身体障害者福祉協会内

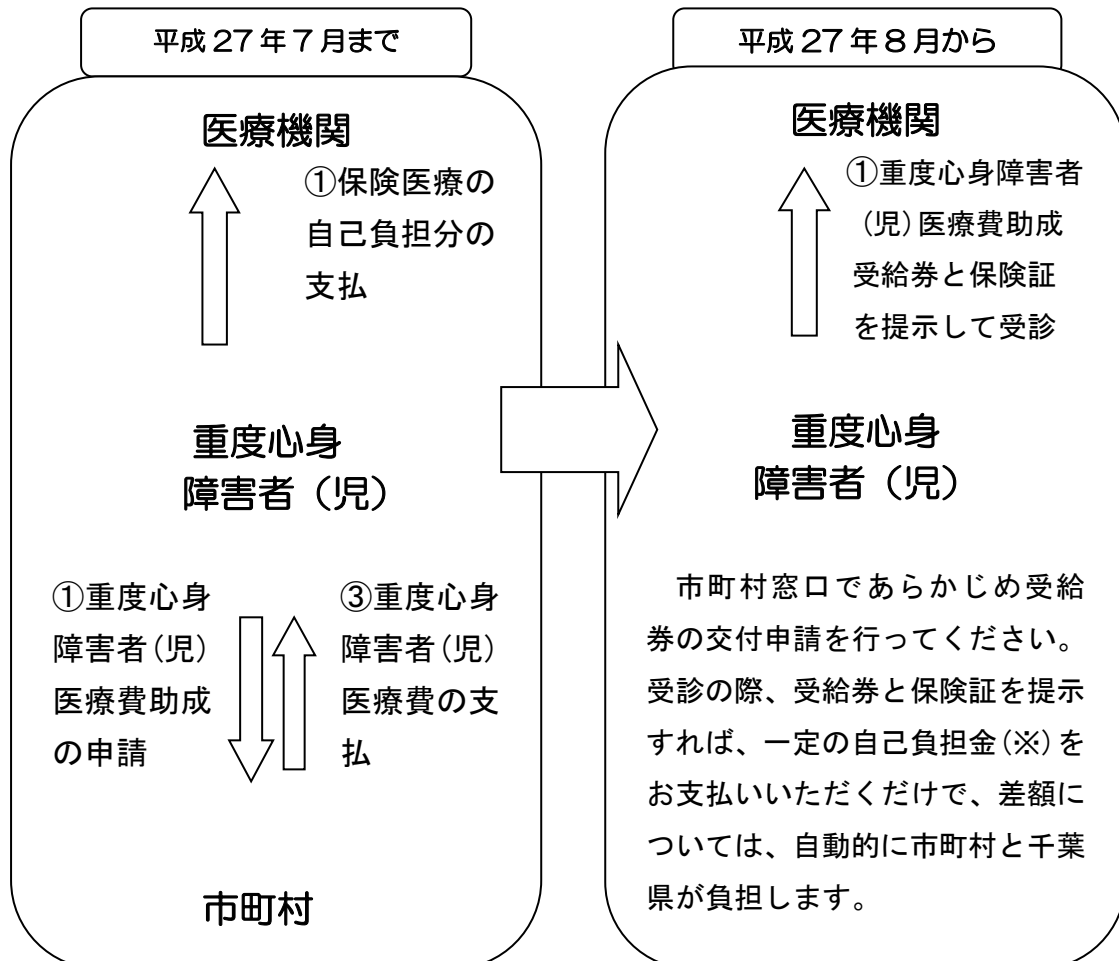
TEL 043-245-1571・FAX 043-245-1578 E-mail: bcg03245@nifty.com

ホームページ: <http://homepage3.nifty.com/chibashinsyoukyou/>



平成27年8月より、重度心身障害者（児） 医療費給付制度が変わります。

平成27年8月から医療機関の窓口で一定の自己負担金をお支払いいただければ、
その場で精算されます。



※原則、通院1回、入院1日につき300円を負担いただきます。ただし、市町村民税所得割非課税世帯は無料となります。

助成内容は、お住まいの市町村によって異なります。

詳しくはお住まいの市町村窓口にお問い合わせください。（千葉県）

らいおんぐるーぷ

頑張ってます!!

らいおんぐるーぷは、らいおん工房(就労継続支援B型)・らいおん千葉・らいおん香取(地域活動支援センター)・らいおんホームそが(共同生活援助)の4つの施設があり、千葉県内のろう重複障害者(*ろう重複障害者とは・聴覚障害+視覚障害・知的障害・精神障害など二つ以上の障害を併せ持った障害)・ろう高齢者・中途失聴者・難聴者が手話・触手話・筆談など個々に合ったコミュニケーション方法で就労支援や交流が出来る環境を提供しています。

☆ らいおん工房(就労継続支援B型)では、現在17名の登録者が農作業・清掃作業・クッキー・パウンドケーキ作り・自主製品製作作業などに取り組んでいます。

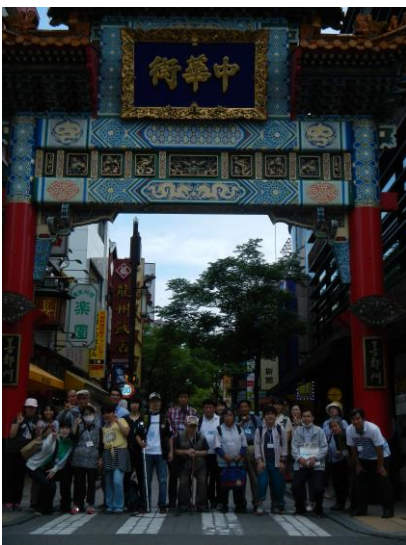
☆ らいおん千葉(地域活動支援センター)では、「生産活動」だけでなく手話学習・社会見学・調理をしながらの栄養や健康の学習、健康維持のためのゲートボールやスポーツゲームなど仲間と共に楽しく交流する「創作的活動」も行っています

☆ らいおん香取(地域活動支援センター)では、自主製品製作作業に地域に密着した製品作りに取り組み「小江戸」と言われる佐原の町ならではの土産品の製作も盛り込んで日々頑張っています。

☆ 昨年オープンしたらいおんホームそが(共同生活援助)は、『手話コミュニティ』のグループホームです。就労や作業から帰ってきたご利用者が自分の気持ちを手話で伝え通じ合える環境で生活出来る場を提供しています。聴覚障害者が安全に生活できるように、インターフォンや火災報知機、居室への連絡は音声ではなく電光やモニターの設置なども工夫しています。

らいおん工房で生産した野菜の販売は地域の皆様との交流の場の一つとなっています。無農薬で育成された新鮮野菜は好評で「今日の収穫は何か？」と販売を待って下さっている地域の皆様の優しい笑顔がご利用者の就労訓練への意欲や喜びとなっています。

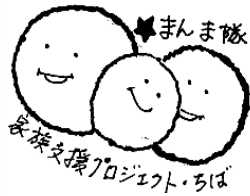
これからも千葉県内に点在するろう重複の仲間が不安なくコミュニケーションが出来る環境を提供するために力を合わせて頑張っていま〜す！！



らいおん工房の日帰りバス旅行(横浜)



耕運機での農作業風景



障害のある本人も家族も生き生きと暮らすために

家族支援プロジェクトちば実行委員会まんま隊 澁川 彰子

手をつなぐ育成会は知的障害のある本人を中心にした家族の中で、普段は市町村単位で活動しています。育成会の活動の柱は二つあり、一つは本人が自分の望んだところで安心安全に暮らす社会の実現に取り組むこと、もう一つは親やきょうだいなど家族全体を支えていく活動です。

家族支援プロジェクトとは、全日本手をつなぐ育成会（現 全国手をつなぐ育成会連合会）が開発したプログラムを使い、ワークショップ（参加型学習会）で家族自身の思いを整理し将来を考えるきっかけを作ることを目的にした活動です。まんま隊は千葉県と千葉市の手をつなぐ育成会の後押しを受け、千葉県内でワークショップを開催する活動を始めて六年目に入りました。各地の育成会はもちろん、中核地域生活支援センター、自立支援協議会等からお招きをいただき、中には毎年の恒例行事のようになっている地域もあります。

障害のある子どもを家族に迎えた時、多くの家族はとまどったり混乱したりすることでしょう。そして子どもが成長するに従って学校のこと、卒業後のこと、それぞれの時期に考えなければならないことがたくさん出てきます。子どものことから離れて家族が自分自身のことを振り返り、自分の将来に思いを馳せる機会も必要です。ワークショップは、スライドを見たりチェックシートに記入したりグループに分かれて話し合いをすることによって、参加者一人一人が「私はこう考えているな、私はこうしたいな」と今の自分を見つめ、次のステップに進めるようなプログラムで構成されています。まんま隊はワークショップのファシリテータ（家族支援の意義を理解しワークショップを進行する役割）として、参加者の皆さんが時間を忘れて話し合うお手伝いをしています。話し合いは「この場のことは、この場限り」「パスする権利」「上下関係や比較・評価を持ち込まない」などルールがありますので、話すことが苦手な方も安心して参加することができます。



ワークショップ風景

ワークショップでのグループは子どもや親の世代が同年代の時、世代差のある時があります。いろいろな世代の親が話し合っ共感したり先輩の体験談に感心したり、今までの育成会が取り組んできた親同士の認め合いや支え合いの経験がワークショップに生かされています。ワークショップで参加者の皆さんが何かの発見をし、本人と家族のこれからの生活を豊かなものにするヒントにさせていただくこと、それがまんま隊の願いです。

ワークショップ開催のお問い合わせ

千葉県手をつなぐ育成会 043-246-2181 info@chi-ikuseikai.com

千葉市手をつなぐ育成会 043-206-4050 chiba-chibahands@dance.ocn.ne.jp

まんま隊活動の詳細は、千葉県手をつなぐ育成会のホームページをご覧ください。

<http://chi-ikuseikai.com/>

働いている障害のある方／働きたい障害のある方

県内には、障害があっても、働く意欲と能力を持つ方が多く住んでいます。

そのような「働きたい！働き続けたい！」を積極的に支援するための各種施策を実施しています。

★障害者就業・生活支援センター★

就職や職場適応などの就業面支援ばかりでなく、生活習慣の形成や日常生活の自己管理などに関する生活支援も重要なため、就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を身近な地域で提供するセンターで、県内に16箇所にあります。

★千葉障害者就業支援キャリアセンター★

就業を希望する方や、現在、就業中の方、その御家族などの就業に関する悩みや就職に関する相談を受け、適切な助言や直接的なサービスを提供しています。

★障害者雇用促進就職面接会★

障害のある方と事業主とが集団面接を行うことにより、障害者の雇用を促進する、「障害者雇用促進就職面接会」を、県内の公共職業安定所が主体となり、県と独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構千葉障害者職業センターと共に開催しています。

★県内公共職業安定所★

公共職業安定所は、雇用に関する相談・支援及び職業の相談・紹介及び雇用保険の支給等様々な雇用サービスを取り扱っています。

障害のある方の相談については、各公共職業安定所の「特別援助部門」にご相談ください。

なお、ハローワークには、管轄がありますのでご確認ください。

★千葉障害者職業センター★

障害者職業センターは、障害のある方に対してハローワーク（公共職業安定所）と協力して、就職に向けての相談、職業能力等の評価、就職前の支援から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある方の状況に応じた継続的なサービスを提供しています。

★在宅就業希望障害者への支援★

★市町村単独の障害者支援制度★

障害のある方が就職する際、いくつかの支援機関を設置し、独自の支援を行っている市町村もあります。

単独の支援を行っている市町村については、「市町村単独の障害者支援制度」をご覧ください。



お問い合わせ先

千葉県商工労働部産業人材課障害者就労支援班

電話 043-223-2756

F A X 043-221-3730